

今回の体育部報は、今年度体育部に仲間入りをされた新任の先生方に、ここまでの経験を通して思っていることをまとめていただきました。

『全力はかっこいい！！』

岡崎市立井田小学校 落合 志帆

「全力はかっこいい」。この言葉を合言葉にして始まったフラッグ練習。コロナ禍で制限がかかり、例年の半分の時間で仕上げなければならないという厳しい状況でした。しかし、そんな苦境の中だったからこそ、感動の瞬間に出会うことができたのです。

フラッグ練習が始まって一週間後の長放課。グラウンドから演技曲が聞こえてきました。なぜかと疑問に思い、グラウンドへ行くと、何人かの子供が、互いに教え合いながら、ただひたすらにフラッグを振る姿があったのです。数日後には、この頑張る仲間の姿に刺激を受け、学年や学級関係なく、自主練習の輪が広がっていきました。さらに、本番前の最後の練習。全体指導をしていた教師に、子供たちが全力の旗振りで感謝の気持ちを伝えたいと「感謝の会」を企画し、389人もの仲間が、心を一つに渾身の演技を魅せてくれました。表情や旗振りから伝わる全力さに心を打たれ、涙が溢れました。演技後の子供たちの顔を見ると、何人も涙を流しているのです。その中の一人がこんなことを伝えてくれました。「人のために全力でやったら、胸がぎゅーってなって、涙が溢れてきたんです。先生、これが感動って言うんですね。」

これからも、目の前にいる子供たちが、心震える瞬間に出会えるよう、自分磨きを怠らず、全力で支えていきたいです。



『共に学び・共に成長』

岡崎市立六名小学校 目黒 雅晴

私は昨年度まで中学校で保健体育科の指導をしていました。今回の小学校勤務は私にとって、大きな転換期だと感じています。ほとんどの教科を指導することや小学生への対応、様々なことが「今までと同じようにはいかない」と考えていました。

実際に授業を行うと、戸惑うことばかり。国語の音読の仕方や算数のノートの書き方、理科の観察や実験、初めてのことばかりでうまくいきません。そんなときに力を貸してくれるのが、学級の子供です。「先生！前はこんなふうにやっていたよ」や「ここで赤い線を引いて、日付を書いていたよ」と教えてくれます。自分の知らなかった知識をどんどん伝えてくれるので、私自身も成長することができました。また、授業の中で、「先生、ここがわかりません」と質問をする子供に対して支援を行うと、「あっ、わかった！こういうことか！」と答えを発見する姿を見せてくれます。この瞬間は子供の学びが深まったことが実感でき、とても嬉しい気持ちになります。

笑顔を絶やさず、頑張ることができる子供らは体育参観日の競技で1位を獲得したり、給食を残さず食べるキャンペーンで好成績を取ったりと、私の想像を超える活躍をしてくれます。

この学級の子供らとこれからも「共に学び・共に成長」していきたいと強く思います。



『子供の目の輝きを求め』

岡崎市立広幡小学校

間瀬 颯良

私は、第一に授業を大切にしています。

1学期、私のクラスの子供は、集中力を欠く場面が多くありました。その度に、私は「姿勢を正しなさい」、「きちんと授業を受けなさい」と叱りました。子供たちは少し首をかしげた後、きちんと授業を受けているふりをしていました。その時は、これでよし、と思っていたのです。そして、恥ずかしいことですが、授業が上手いかないことを子供たちに責任転嫁していたのです。そんな私の授業を受ける子供の目は曇っていました。

授業を改善するために、先輩方の授業方法や教育書にある教育技術を真似しました。目指したのは、「主体的に子供が動く授業」です。

体育「ゲーム」では、ルール作りが大切です。以前の私は、難しいルールを長々と説明していました。長くなれば長くなるほど子供は困惑した顔を見せました。そこで、スモールステップを踏むようにしました。1つだけルールを徹底し、活動させ、できたら褒める。さらにもう1つ追加し、できたら褒める。というように子供が活動する中でルールを覚え、学習していくようにしたのです。

「授業が楽しい」、「跳び箱を跳べるようになった」、「もう1時間、体育やりたい」など、子供たちが変わり始めました。また、私にも余裕が出て、子供たちの学校生活が落ち着きはじめたのです。

「主体的に子供が動く授業」ができたときの子供たちの目の輝きを求めて、これからも学んでいきたいです。



『ともに』

岡崎市立六ツ美北中学校

森 友輝

始業式、目の前に座る緊張した表情の子供たちを見て、改めて教師としての自覚をもちました。しかし、すぐさまコロナウイルスの影響による休業になりました。今までにない状況の中、子供たちとともにこの苦難を乗り越えていこうと自分に誓いました。

9月の体育大会、私は1・2年男子の合同演技『演舞』の指揮を担当しました。初めての踊りの指導、大人数の一斉指導、分からないことばかりでしたが、子供たちが自分たちらしさを力強く表現できるようにするにはどうすればよいのかを考え続けました。周りの先生方から助言をいただいたり、よりよい演技にするためにはどうすればよいのかを子供たちと考えたりしながら、少しずつ踊りを創り上げていきました。

体育大会当日、最高の演技を見せてくれた子供たち。踊りの練習が始まったときはあまり意欲的ではなかった生徒が、演技が終わった後にとっても輝いた表情で「先生、どうでしたか!」と嬉しそうに聞いてきました。その姿は忘れることができません。子供たちは自分自身の成長を感じることができていたのではなかとと思います。

このように、子供たちが、学校生活の中で自分自身の成長を感じることができるよう、日々考え、子供とともに成長する教員であり続けたいと思います。



～ 御 礼 ～

御退任、御転任された先生方への記念品について、皆様のご協力によりお贈りすることができました。ありがとうございました。